



# 乙島っ子

令和3年度 NO. 14

令和3年 6月16日 倉敷市立乙島小学校

## 「いきいき べんきょう」



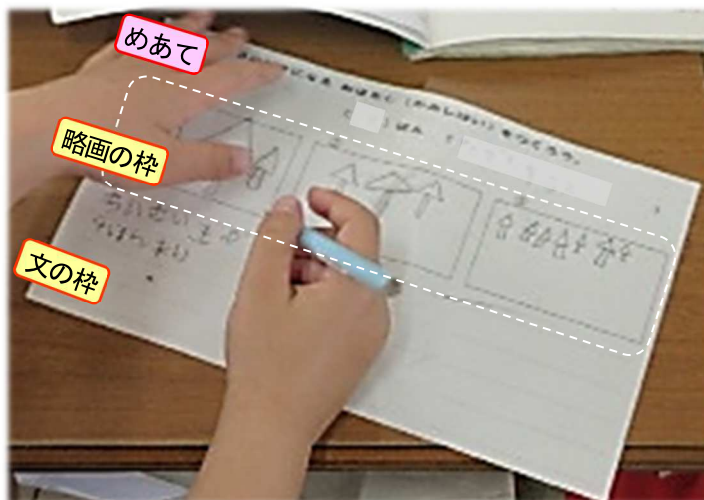
「4+3のしきになるおはなしをつくろう」の学習

6月11日(金)の2校時, 1年い組の教室では, 算数の授業が行われていました。めあて「4+3のしきになるおはなしをつくろう」が, はっきりと黒板に示され, その下の大判の掛け図には, 鳥や子ども, ベンチなどが, 4と3の数で配されています。

教師は, 「『ふえる』おはなしからつくろう」と, 児童とのやりとりを通して確認し, 「とりが4わいます。」「とりが3わきました。」「ぜんぶで7わになりました。」と, 児童と「一緒に」, 鳥の略画と文をかいていきます。見事, おはなしの完成です。

次に, 「『あわせる』おはなし」も, 「ちょう」を基に「一緒に」つくった児童は, 「外のものでもおはなしをつくりたい」と, 意欲を顕わにしてきました。

## 「お手本」をもとに…「まねぶ」, それが「学ぶ」ということ



ノート「貼り貼り」サイズのワークシート

児童が「おはなしづくり」に対する見通しがもて, 「やりたい」という気持ちが「頂点」に達した絶妙のタイミングで, 教師はワークシートを配付します。

ノートに貼ったときはみ出さないよう, 縁を切り揃えられたそのワークシートの一番上には, 黒板にも示されていた「めあて」が, 名前を書くところを経て, 中ほど上には略画を描く枠三つ, それぞれの下には文を書く枠が印刷されています。名前を書いた児童は, 教科書を開き, 掛け図と同様の場面絵が示されたページを見ながら, 「ちいさいきが4ぼんあります。」「おおきいきが3ぼん…」と, 「4+3のしきになるおはなし」をつくっていきます。このように, 児童は, 黒板の「お手本」をもとに, 「まね」び, 問題づくりを学んでいくのです。

## 「まねぶ」のススメ

児童の机を巡り, 個別指導をする教師は, おはなしの題材の選び方, 略画の描き方等を確認し, 必要な場合には指導します。また, 題材選びが難しい児童がいそうなことを想定して, 「難しい人は, 黒板のおはなしとおんなじでいいからね。」と全体に声をかけます。「まねぶ=学ぶ」の理念が, そこにあります。さらに, 1枚かき終えた児童には, 称揚の声をかけ, 手持ちしていた2枚目を渡します。これらのように, 1年い組には, 「いきいき べんきょう」する児童の姿が確実にありました。

玄関から校舎に入り すぐ左の「さんさん広場」には, 自主学習ノート「お手本」があります。今日も乙島っ子は, 「まねぶ」ことでしょう。



自主学習ノートの「お手本」